

『浄瑠璃 不知火座——石牟礼道子劇場』は
石牟礼道子ゆかりの熊本市真宗寺と、水俣おれんじ館で
石牟礼作品を上演し続けていきます。

石牟礼道子作「西南役伝説」より

六道御前

お前のじよるりは夕闇の花吹雪じや
魂ば舞わするとなあ



熊本公演

水俣公演

2022年

12/10(土) 15時 真宗寺

12/11(日) 14時 おれんじ館

天涯孤独の放浪の芸能者おろくが母恋の身の上を語り、浄瑠璃を語る。石牟礼道子の癒しの浄瑠璃浄土、祈りと歌の浄瑠璃芝居。

「三界火宅のみなし子が、かかさんや兄者を思い出そうとすれば、じょろりことばで思い出す。じょろりがわたいやら、わたいがじょろりやら。こうして、酒にも酔いまする……」

一部 詩「花を奉る」石牟礼道子

対談 石牟礼道子と芸能 (30分)

晩年の石牟礼道子さんを、小さなピアノや板三味線、ギターを
持参して訪れ、一緒に唱歌を歌った赤坂真理と笠井賢一が、
石牟礼作品の根底にある芸能の力について語る。

休憩15分

二部 一人芝居『六道御前』

笛	石橋敬子
地歌三味線	設楽瞬山
衣裳	佐藤岳晶
演出	細田ひな子
	笠井賢一

石牟礼道子さんは代表作ともいえる新作能『不知火』(2002年
東京、2003年熊本、2004年水俣観水緑地奉納上演)を「現代文明に倒れた人間
の魂と自然の命を救うには言葉を超えた祈りの音楽が必要だ」
という思いで書かれました。私は『不知火』を演出して以来、石牟
礼文学の全てに流れている詩と歌と劇の豊穡さ―芸能の力を
作品化する仕事を続けてきました。

2018年には『浄瑠璃不知火座―石牟礼道子劇場』を立ち上げ、
この『六道御前』を石牟礼さんにご覧いただきました。

このたびは石牟礼さんゆかりの熊本と水俣で、福岡県飯塚市出
身の石橋敬子さんが演じます。この作品には石牟礼道子の芸能
者への深い眼差しが結晶していて、天涯孤独の主人公の魂の輝き
は私たちに深い感動をもたらしてくれます。アトリエ花習笠井賢一

石橋敬子 福岡県飯塚市出身。学生時代に京都大学劇団創造
座に参加し、サトル作「悪魔と神」に出演。能を観世流鶴澤雅
師、鶴澤久に師事し能「船弁慶」、「葵上」などを舞う。銚仙会
の能舞台で、2018年三島由紀夫作の近代能楽集の「葵上」と
「弱法師」を「貴種流離譚」というキーワードで繋げる上演の主
役翌年にも同じく「綾の鼓」と「卒塔婆小町」を「愛の不可能
性」というキーワードで繋ぐ上演の主役を、笠井賢二演出で演じる。

佐藤岳晶 パリ国立高等音楽院クリチエール作曲理論科修了。
近世邦楽の研究において、東京藝術大学大学院音楽文化学専攻
修了：博士(学術)。地歌箏曲を二代米川文子(人間国宝)師に
師事(芸名：佐藤文岳晶)、長唄を今藤尚之師に学ぶ。西洋音楽
と近世邦楽を横断する作曲・演奏活動を行う。石牟礼文学への
作曲に、浄瑠璃「不知火―われ、蒼き苦海の底より咲き出で」、
箏曲「二月まんじやらけ」、歌曲「アミの鳥」ほか、劇音楽では
笠井賢二演出の「緑重紀の蝶」「言魂」など。京都女子大学准教授。

設楽瞬山 都山流尺八奏者として活躍。演奏活動のほか、
演劇や語りの音楽として、演劇的な内容に深く添った表現を実現
する。代表作に若村麻由美一人芝居「小宰相身投―平家物語
による」や「千手」、同じ平家物語による、麻実れいの語り芝居「女
院出家」の音楽、真野響子一人芝居「夢十夜」(夏目漱石の音楽
など多数。言魂 詩・歌・舞―石牟礼道子・多田富雄 深き魂の
交歓)に出演。若村麻由美「首根崎心中」(笠井賢二演出の音楽。

赤坂真理 作家。「愛と変容を世界にもたらす」がモットー。アメ
リカで天皇の戦争責任を問われる少女を通して日本の戦後を鮮
やかに描いた『東京ブリズン』(2012)が反響を呼び、第66回毎日
出版文化賞、第16回司馬遼太郎賞受賞。第23回築式部文学賞
受賞。「愛と性」存在のななし(NHK出版)を出版。

笠井賢一 今尾哲也氏(歌舞伎研究に師事。劇作、演出家とし
て古典と現代をつなぐ演劇活動、能狂言役者や歌舞伎役者、
現代劇の役者たちと続ける。「古事記」から「源氏物語」「平家
物語」、近松門左衛門、宮澤賢治と幅広く演出。新作能では多田
富雄作「石仙人」「花供養―白洲正子の能」「石牟礼道子作「不
知火」などを演出。浄瑠璃「不知火座―石牟礼道子劇場」を立ち上げ、
同時期に立ち上げた「宮澤賢治劇場」を両輪に演劇活動が続け
ている。来年には多田富雄の新作能「石仙人」を新演出での上演
と自作の新作能「空海」の上演予定。アトリエ花習代表。



石牟礼道子 1927年
熊本県天草郡に生まれる。
詩人・作家。1969年に公
刊された「苦界浄土―わが
水俣病」は文明の病として
の水俣病を描いた歴史的な
作品。1973年マガサイサイ賞、1993年「十六
夜橋」で紫式部文学賞、2011年朝日賞、2002
年「はにかみの国―石牟礼道子全詩集」で芸術選奨
文部科学大臣賞。新作能「不知火」が東京・熊本・
水俣で上演された。藤原書店刊行石牟礼道子全集
「不知火」が完結。その後も次々と著書の刊行され
るが、2018年2月10日逝去。これからも世界の
レベルで重要な作家として読み継がれる存在である。

次回予定ラインナップ

- ◎「一人芝居」苦海浄土―天の魚より―八田部鉄
新作地歌舞「黒髪」山村楽千代ほか
- ◎詩劇「緑重紀の蝶―自分に聞かせる童話」

熊本公演

2022年
12月10日(土)

15時開演(30分前開場)

真宗寺

〒862-0911
熊本県熊本市区健康4-17-45
09663683759

水俣公演

2022年
12月11日(日)

14時開演(30分前開場)

おれんじ館

〒867-0035
熊本県水俣市月浦195-2
0966622111

入場料 2500円(全自由席)
お申込・お問合せ アトリエ花習
TEL 090-9676-3798

